一般社団法人　えこえね南相馬

発足記念フォーラム

2013年4月14日（日）13：30－15：30

交流会15：30-16：30

会　場　：南相馬市社会福祉協議会　視聴覚室

南相馬市原町区小川町332-1　TEL 0244-24-3415

参加費　：一般500円　高校生以下無料

プログラム

■ 挨　拶：髙橋 荘平（一般社団法人 えこえね南相馬研究機構 理事長）

■ 講　演：舩橋 晴俊（法政大学 社会学部教授 環境社会学）

「住民主体の復興と再生可能エネルギー」

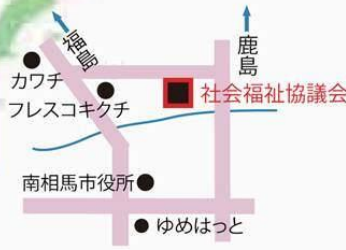
■ パネルディスカッション

「再エネ活用による農業再生と地域活性化」

パネラー：箱﨑 亮三　えこえね南相馬 専務理事
奥村 健郎　太田地区復興会議
中山　弘　えこえね南相馬 理事
高橋 美加子　えこえね南相馬 理事

再生可能エネルギーで復 興 促 進

南相馬で住民主体による再エネ普及に取り組んできました"えこえね南相馬"がこの度一般社団法人となります。
今度は農地と再生可能エネルギーの共存による農地再生と地域活性化に取り組んでまいります。住民を中心とした復興の在り方と、私たちの取り組みにご理解をいただきながら、市民の皆様とともに歩んで行きたいと考えています。



主　　催：一般社団法人 えこえね南相馬研究機構（略称 えこえね南相馬）
連 絡 先：090-4045-4558（安藤）
協力団体：一般社団法人 南相馬除染研究所・NPO法人 実践まちづくり
おひさま自然エネルギー株式会社・太田地区復興会議

■ プログラム

◎ 高橋荘平 理事長　挨拶

◎ 舩橋晴俊 法政大学社会学部教授　環境社会学

「住民主体の復興と再生可能エネルギー」

◎ パネルディスカッション

「再エネ活用による農業再生と地域活性化」

パネラー

箱崎亮三　：　えこえね南相馬 理事
奥村健郎　：　太田地区復興会議
中山弘　　：　えこえね南相馬理事
高橋美加子：　えこえね南相馬理事

中山　弘　：えこえね南相馬理事

自己紹介

1946年 茨城県生まれ
埼玉県新座市在住

2007年 定年退職

2008年 “2030ビジョン”プロジェクト 主宰

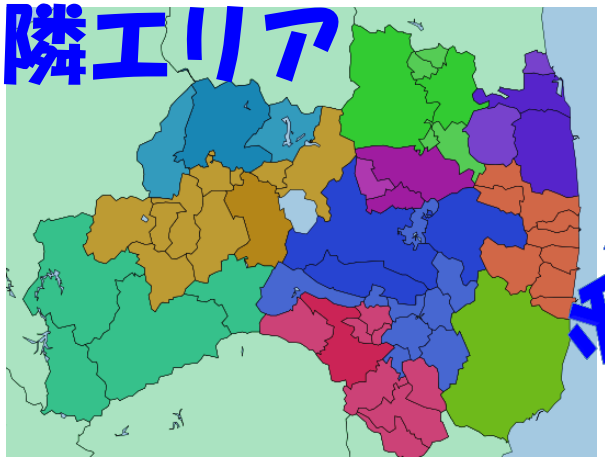
2011年 3月 南相馬訪問
以降 復興支援

2011年 2月 南相馬ダイアログ 参加

2012年 9月 えこえね南相馬　参加

えこえね南相馬での役割は？

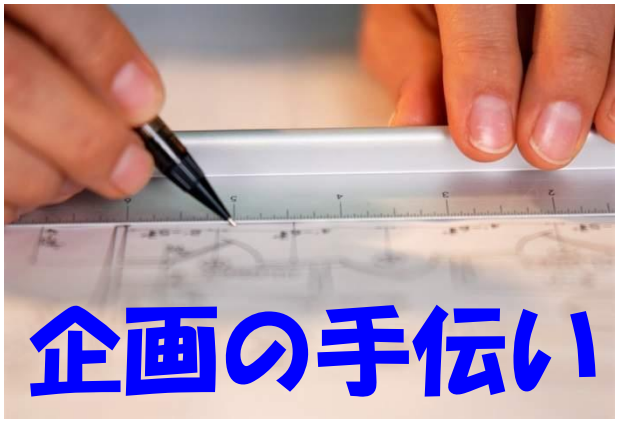
近隣エリア



省エネ・新エネで街づくり

つなぐ？

首都圏の人



企画の手伝い

省エネ・新エネで街づくり

暮らし

- 豊かな暮らしとはなにか
- エネルギーの地産地消
- コミュニティーと暮らし

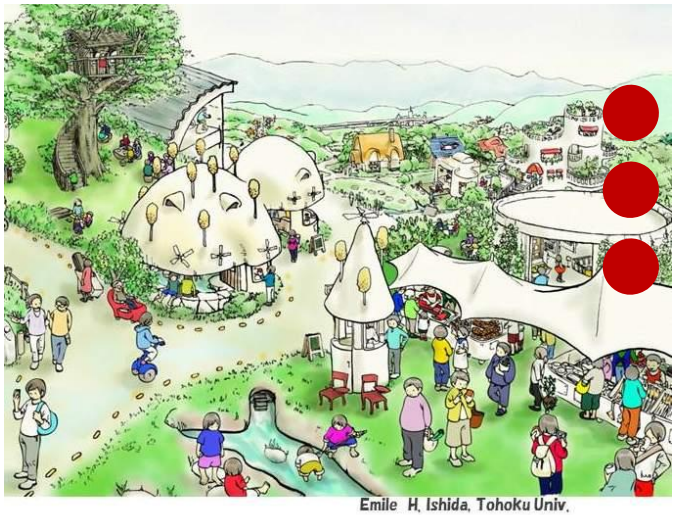
省エネ

- 節電のアイデア共有、実践
- 遮熱、断熱、蓄熱 など
- 省エネコンクール

新エネ

- 農業と新エネの共存
- 再エネによる地域活性化
- バイオマスの活用

エネルギーを上手に活かしながら どんな暮らしをつくっていくか みんなで考えていきます。



Emile H. Ishida, Tohoku Univ.

- ほんとうの豊かな暮らしとはなんだろう
- エネルギーの自産自消、地産地消
- コミュニティーのある暮らし

出典：東北大学 大学院環境科学研究科

出典：福島県再生可能エネルギー推進ビジョン

みんなで工夫しながら、使用するエネルギーを減らしていく取組みを進めます。

７０％のエネルギーで心豊かに暮らす

- 節電のアイデア出し
- 遮熱、断熱、蓄熱
- 省エネコンクール

出典：東北大学 大学院環境科学研究科

出典：一般財団法人省エネルギーセンターHP

住民発の再生可能エネルギーづくりをみんなで学びながら、実現していきます。

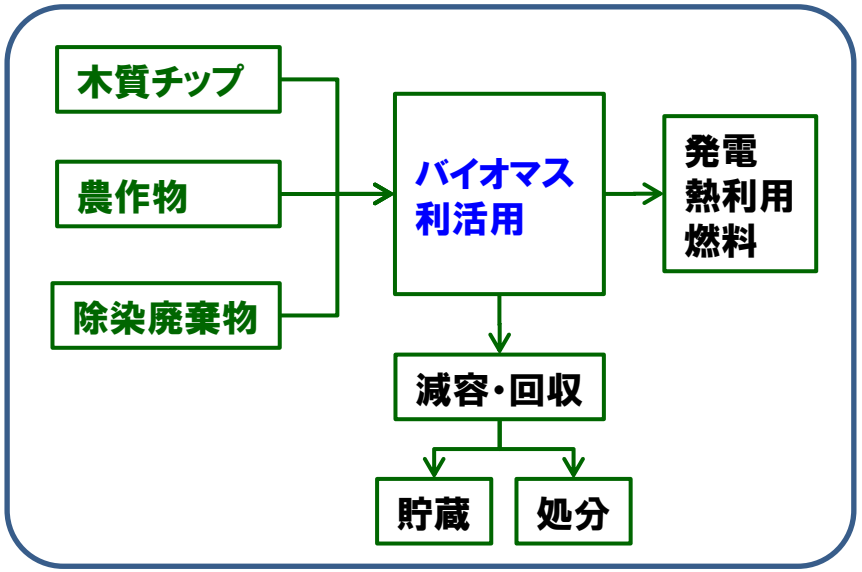
- 再生可能エネルギー学習会／見学会
- 分散型太陽光発電

- 農業と再エネとの共存

- 小水力、風力発電

- バイオマス実証調査スタディ

様々な実証調査を学び
住民が受け容れられて
実効性の高い手法を考えます



【参考】南相馬市再生可能エネルギー導入目標

２０２０年度 再生可能エネルギー導入比率 ６５％

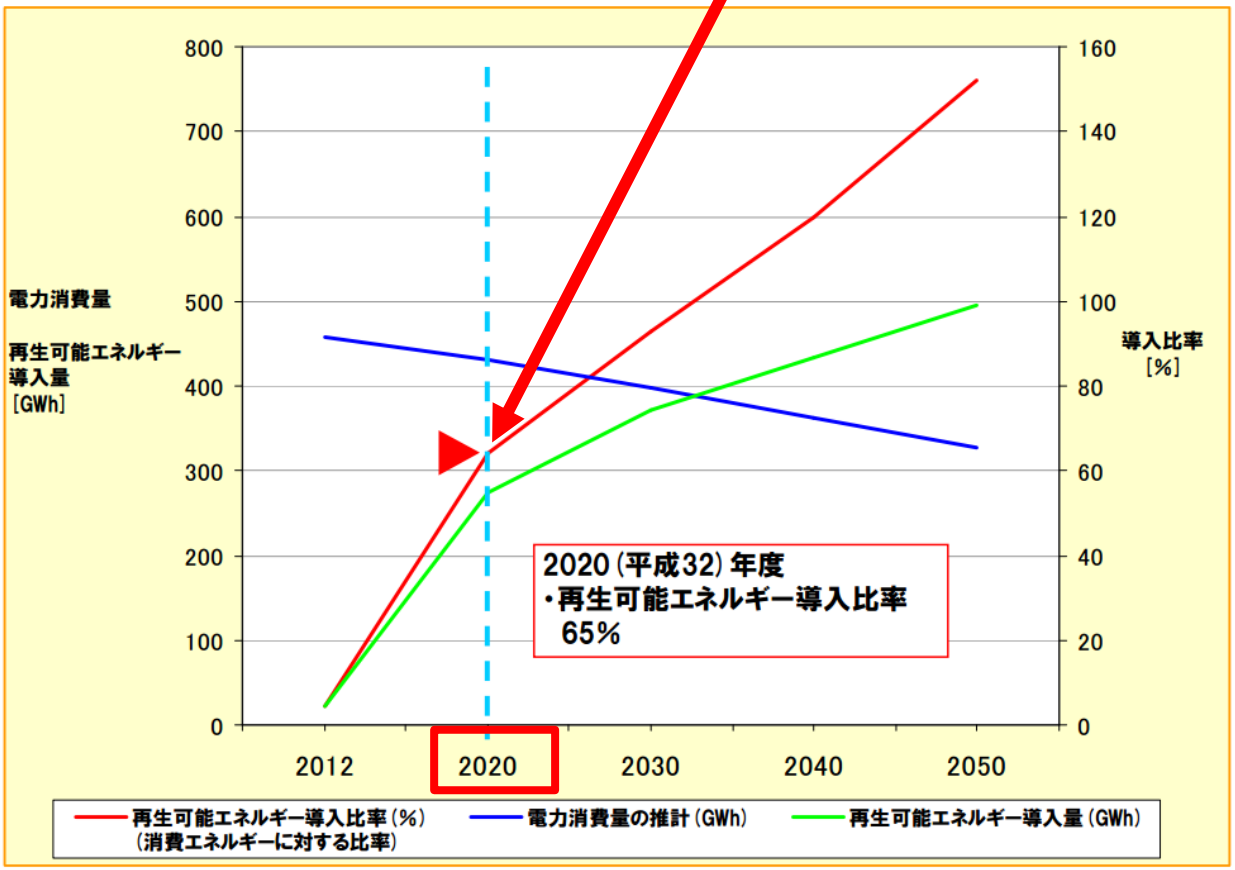


図 4-9　再生可能エネルギーの導入目標

再生可能エネルギー

2012年 ⇒ 2020年

21 GWh **275** GWh

10倍

出典：南相馬市再生可能エネルギー推進ビジョン（案）

具体的な取組みのイメージ

エネルギー勉強会

先進事例見学会

エネルギーと暮らしを考える会

農業と再エネの共存勉強会

子どもワークショップ

エネルギー学び場

省エネ・新エネで街づくり

みんなで心ひとつに